第48号 奈良LDの親の会『パンジー』

H 3 0 年 1 月 発行

パンジー通信

ホームページ http://www.pansy-nara.net/

「パンジー」は LD 及び ADHD、アスペルガー症候群、高機能自閉症、軽度知的障害など、発達障害児(者)の親の会です

パンジー通信四十八日

・全国 LD 親の会 近畿ブロック研修会報告 H29/11/122
・パンジーの会 講演会・全体交流会報告3
・運営部 奈良教育大学にてボランティア募集活動4
・アド部 行政等訪問活動報告5~6
·小中学部 県教育委員会訪問7
・土曜会児童部 たのしいクリスマス会8
・パンジー各部活動報告
運営部・小中学部・アド部(高卒相当以上)・ピアカン、土曜会各部
9~10
・お知らせ イオン黄色いレシートキャンペーン
投函ボックス設置店変更のお知らせ11
・マッケンジーソープ氏 絵画展のお知らせ12



皆さま、平成30年を健やかにお迎えのこと思います。 本年もよろしくお願いいたします。パンジー代表の入船です。

今年は、やはり「会員の皆様の活発な交流」を目指して活動してまいりたいと思います。 私事ですが、62歳を過ぎても未だに会社事業に関わっており、名古屋単身も5年目となります。何とかこなしていますのも、家に帰ってきたら「純朴な青年」と「家を支えている妻」が笑顔で待っているからだと、有難く思います。

やはり普段のコミュニケーションが、障がいのある子どもがいる家族には必要ですし、パンジーの会のような同じ気持ちを共有できる仲間の存在はとても大切であります。 今年も、皆さまと一緒にパンジーの会を前進させていきましょう。

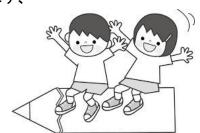
全国 ID 親の会 近畿プロック研修会 親なきあとの金銭管理〜親が元気なうちにやっておける手続き〜

11月12日(日)ドーンセンターにて近畿ブロック研修会に参加しました。

ファイナンシャルプランナー終活アドバイザー鹿野佐代子先生にお越しいただき『親なきあ との金銭管理~親が元気なうちにやっておける手続き~』と題して3時間、質疑応答も含めて の研修会でした。

もし自分にもしものことがあったら、とせっせと貯金をする私たち。子どものためにお金を 貯めていくことも大事かもしれませんが、それだけでなく、まず、

- ・親なきあとの生活を子どもに意識して生活をさせる
- ・体験やトレーニング、訓練を積む
- ・自分で判断できるように経験を積ませる
- ・時には自分で考えさせる時間や経験も必要



ということが子どもにとって、なにより大切であるというお話しをされました。

自分たちや子どもの暮らし方を把握して、自分のもしもの時のことをしっかりと話し、書類などの形として残す、また、子どもが自立して生活できる場所をしっかりと見つけておく、そして、子どもの余暇活動を充実させ、生きる歓びを得られる生活ができるようにしておく。お金を残すだけでなく、豊かな人生を親亡き後にも過ごせるように、貯めてばかりではなく、人生を楽しめるよう使うことも必要であるというお話しをしていただきました。

今回の研修で、鹿野先生からお聞きしたお話しで、不安だらけの将来が少し明るくなったような、そんな気持ちになりました。



パンジーの会 講演会および全体交流会 「発達障害児(者)のきょうだい支援について」

11月19日(日)、大和郡山市あすなら苑の大会議室にて、パンジーの会全体交流会研修会を開催しました。講師に兵庫教育大学嶋崎まゆみ先生をお迎えし、「発達障害児(者)のきょうだい支援について」というテーマで講演いただきました。小中学部5名、成人部12名、兄弟の方1名の18人の参加がありました。

子ども時代から成人〜親なき後、それぞれの時々にあわせた発達障害児やその兄弟への関わり方、また兄弟への負担の軽減など、とても丁寧に、また実例をあわせてお話しをしていただき、また質疑応答では、さまざまな年代の子を持つ親からの質問にお答えいただきました。

以下、参加者の感想です。

- 〇子供たちが大人になった時にどのように兄弟が関わることがそれぞれの幸せに繋がるか学べました。
- 〇兄弟の想いへの理解を深めることができました。また行動化していることは良いことなん だということは目からうろこで新しい視点を 持つことができました。
- 〇日常で、こんな対応でいいのかなと思っていた事が、今回のお話を聞かせて頂き、安心した点、逆に気をつけないといけない点を知ることができました。

今日から家庭で取り入れたいです。



〇兄弟児が、自分らしく、自分の思い通りに生きていくことが一番なのだ、ということを今回 の講演で聞くことができ、本当に良かったです。兄弟間が仲良くはなく、苛立ちを前面に出す 兄弟児に手を焼いていましたが、しっかりと思いを家族に出せていることがなにより大事なの だとわかり、ほっとしました。これからも、それぞれの子どもの思いを受け止められる親であ るよう、努めていこうと思います。

講演会終了後は、15歳以上の子を持つ親のアド部と、小中学生の子を持つ親の小中学部とで、お茶を飲みながらお話をする交流会を行いました。普段なかなかゆっくり話す機会がないので、皆さん時間が経つのを忘れて不安や悩みなどを思い思いに語り合いました。

以下、参加者の感想です。

- 〇中学校に進学するにあたり早々に行動すべきことを具体的に先輩お母さんお父さんに教えて もらって助かりました!
- 〇中高進学前や在学中に学校に対して行動された経験談を聞かせて頂き、親から行動を起こす ことの必要性を改めて感じました。



11月21日奈良教育大学玉村先生のご協力をいただき、特別支援教育を学ぶ11名の一回生の方々へ2時半からの授業の時間をいただき、土曜会活動ボランティア募集のお話をさせていただきました。

土曜会活動では、発達障害を持つ子だけでなく、兄弟児の支援も必要です。

1人でも多くの学生の方にお越しいただき、発達障害への理解を深めていただきたい、そして、ご協力いただきたいと願っています。

以下、奈良教育大の学生の方々からの感想です。

〇奈良教育大学 特別支援教育専修 A 君

本日はお話を聞かせていただきありがとうございました。

僕は今日、障害のある兄や弟をもつ次男さんの思春期のことで質問させてもらいました。

僕がボランティアで関わっている子どもさんにも障害のある兄弟をもつ子がいて、ちょうど中学生になって思春期をむかえる年なので少し兄弟の障害のことが気になってきているみたいなので質問させていただきました。つい障害のある子どもさんに目がいきがちですが、その兄弟にも色々悩みなどもあると思います。親や兄弟に直接言うのは言いづらいかなと思うので、ボランティアの学生がその悩みを聞いたりするのもいいのかなと思いました。そして、そういった悩みを本音で話せるような雰囲気づくりもしていくべきだなと感じました。

そして、今回、お話を聞いて改めて教師の責任や影響力を感じました。子どもたちや保護者のかたの願いや気持ちに寄り添えるようになりたいと強く思いましたし、そういった願いや気持ちに向き合い続けられる教師になりたいです。そして、あの先生はいい先生だったと言われるような人になりたいと思いました。

他のボランティアやサークルの兼ね合いもあり、毎月確実に参加できるとは言えないのですが、それでも大丈夫ならボランティアにぜひ参加させていただきたいです。 よろしくお願いします。

本日は本当にありがとうございました。

ボランティア募集中! 当会ホームページのお問い合わせ コーナー、またメールにて受け付け ております。ぜひご参加を! ご連絡お待ちしています。

行政等訪問活動報告

各方面に訪問を行いました。以下、訪問先ごとに報告します。

- 1. 日 時 平成29年9月28日(木) 9時~11時30分
- 2. 訪問先 奈良労働局、奈良県障害福祉課
- 3. 参加者 パンジーアド部4名 配布資料 パンジー通信9月号
- 4. 訪問概要
- (1) 奈良県労働局 職業安定部職業対策課
 - ・奈良第三地方合同庁舎2階会議室 9時~10時 ・入手資料 奈良県の障害者雇用状況他
 - •相手先: A課長補佐、B障害者雇用担当官

奈良県の障害者雇用数は、前年比240人増、実雇用律2.6%全国一位、法廷雇用率60.4%全国10位(H28.6.1現在)とのこと。新規求職申込件数は651件、紹介件数1557件、就職件数は342件(就職率52.5%?)。精神障害者の求職は、昨年よりさらに増加しているとのこと。

平成30年4月1日から雇用率制度に精神障害者も雇用義務の対象となる、民間企業の雇用率は現行2.0%から2.2%へ、国、地方公共団体等は2.3%~2.5%へ引き上げられる、更に3年経過前に民間、国等も更に0.1%引き上げになる予定とのこと。民間の雇用率が2.2%に引き上げられるに伴い、対象となる事業主の範囲が現在の50人以上から45.5人以上の企業に拡がるとのこと。発達障害者の場合、手帳(療育または精神)保持者で、週20時間以上が0.5人、週30時間以上勤務者は、1.0人とカウントされる。

新たな取り組みとして、9月から「精神。発達障害者しごとサポーター養成講座」を開始、一般の従業員を主対象に精神障害、発達障害に関して正しく理解いただき、職場における応援者 (精神・発達障害者しごとサポーター)となっていただくための講座(講義 7 5分、質疑応答 1 5~4 5分低度、企業へ出向くことも含む)を開始したとのことで、障害者と一緒に働くことがあたりまえの社会になることを後押しすることを目的とのことで、大いにすすめていただくようお願いした。

当方からは、発達障害者の就労先出口の拡大、就労コーディネーター、ジョブコーチの就労時、就労後のフォロー、企業側の役職者異動に伴う障害者への配慮事項の引継ぎ指導、職場の支援者の確保等や就労時の段階的作業負荷や就労後の労働条件確認等のフォロー等、きめ細かな対応、他の支援事業所との連携、企業の指導等をお願いした。

(2) 奈良県健康福祉部障害福祉課

- · 奈良県庁本館3階会議室10時半~11時30分
- 入手資料 予算事業名及びその内容、支援機関ガイド
- · 相手先: C課長補佐、D雇用促進係長

(特別支援の方の職場実習先や障害者雇用先の紹介・開拓や事業所の監査等を実施。)

県から就労支援の概要を、年度予算案の概要資料にて説明を受けた。主要なものは、なら障害者「はたらく」推進事業 約37百万円 障害者就業・生活支援センターの設置、「障害者はたらく応援団なら」48社の運営、障害者ニーズに応じた職場実習の受入拡大を推進、県内企業等を対象とした精神障害者雇用セミナーの開催等、精神障害者・発達障害者雇用企業サポート事業:約940万円、相談員を昨年から2名に増員し、企業等の支援を実施。その他として特例子会社設立等支援事業 約1640万円 補助上限を500万円から300万円に下げ、門戸を拡大し設立支援をはかるとのこと、障害者職場実習促進事業約110万円ジョブサポーターを養成・登録し、職場実習先に派遣するもの。従来なら行政が自ら実施すべき仕事が、委託事業として、障害者就業・生活支援センターや発達障害者支援センターに委託されたマイネス面として、一生懸命に活動はしてく

れてはいるが、企業等に対して発言力が弱い面が感じられる、関係箇所が良く連携して、県が企業 に対して指導力を発揮してほしい旨をお願いした。

- 1. 日 時 平成29年9月27日(水) 14時~15時
- 2. 訪問先 奈良県中小企業家同友会(奈良県経済会館407号室)
- 3. 参加者 パンジーアド部2名 配布資料 パンジー通信9月号
- 4. 訪問概要
 - ·相手先: E事務局長代行

窓口が、現事務局長代行に交代して2年目になる、中小の景気はよこばい、大企業の好景気は下にはおりていない、障害者を雇う余裕がでてくればいいのだが、難しいとのこと。

なら発達・精神障害学生を支援するしくみ作り講座が9月に開催され、(産・福・学が連携した大学生支援ネットワーク)同友会参加企業もセッションに参加した、しくみ作りが大切とのこと、地域に根づく企業が生まれ、そのなかで、障害者雇用も積極的に実施してくれる企業が育つことをお願いした。障害者雇用を検討しようとした際に、企業が相談する行政窓口を訪ねられたので後日連絡した。

- 1. 日 時 平成29年9月28日(木) 13時~13時40分
- 2. 訪問先 奈良県産業・雇用振興部 雇用政策課 (奈良県庁本館4階会議室)
- 3. 参加者 パンジーアド部2名 配布資料 パンジー通信9月号
- 4. 訪問概要
 - ・相手先: F係長他1名・入手資料 介護員養成科訓練募集チラシ

県実施の下期の訓練は、介護員養成科として12月に一ヶ月間を計画している。その他は、ハローワークでの求職相談でOJTを検討、 県のコーディネーターが訓練先を決定し、一ヶ月程度の訓練を実施していくとのこと、実績として病院での清掃やスーパーでの品だし等がある。 介護関係の求人は多いが、事務の補助業務等は少ないとのこと。 県実施の訓練内容は、県のホームページ「奈良県 雇用政策課」と入力して閲覧されたいとのこと。

会員からは、実績を踏まえた各種訓練の開催、就労後のきめ細かなフォローの実施、就労前の適正診断の強化とよりいっそうの障害特性を踏まえた必要な訓練機会の拡大、就職先の紹介、職場の開拓等をお願いした。マクドナルドで主婦向けのマニュアルが大変好評であったと聞く、コーディネーターやジョブコーチ等が、障害者にわかりやすいマニュアルを作ってあげる等のことをしてほしい。中小企業等が障害者を雇う意思はあるものの窓口がわからない場合は、政策課に相談してほしいとのこと。

~追 記~

9月27日(水) 12持~12時半 アド部会 (ボランティアセンター会議室)

パンジー通信の印刷後に、3名でお喋り会を実施しました。

少人数の部会の時に「親亡き後の財産管理について」Kさん(ファイナンシャルプランナー)から、 一般的な話を聞きたいと要望がありました。勉強会をすること等を考えてみようと思います。親亡き後 については、個々の生活スキル能力と各家庭の事情により異なり、正解はないのですが、子供が自立で きなくて、親が高齢化してくると、大きな心配となってくるのが現実です、参考になるお話が聞け、少 しでも展望が開けたらと思います。





今年も奈良県教育委員会へ訪問させていただきましたのでご報告いたします。

- 1. 日 時 平成29年11月15日 水曜日 10時~12時00分頃
- 2. 参加人数 10名

昨年同様、学校教育課・特別支援教育係 係長の笹木幸光先生と、新たに同課の指導主事の大谷啓之 先生が同席して頂き懇談いたしました。

当方から、発達障害を持つ子どもたちへの支援・指導に活用できる内容であるものとして、鳥取県が取り組み鳥取のLD親の会も協力し作成したパンフレットを紹介し、是非とも教育・福祉・医療の連携のもと奈良県でも作成して頂けないかとご提案いたしました。

先生方から、学習指導要領が10年ぶりに全面的に改正され、発達障害を持つ児童・生徒への合理的配慮の実施や個別の支援計画及び個別の指導計画書を全員作成し、切れ目のない支援体制の構築に向けた特別支援の充実を目指すように明言されたこと、2020年から徐々に具体的実施・施行を行っていくことになっている等のご説明を頂きました。ただ、現実的には教育現場への周知徹底・円滑な実施には時間がかかり、また、各個々の現場の教員の力量に差があるため、全ての児童・生徒が満足し充実した支援が得られるようになるにまだ、少し先のことなりそうである、とのことでした。

参加した各会員から、子どもさんが抱える課題や親御さんの悩み・疑問・要望などを、先生方に聞いて頂き、それぞれにケースに対してお答えいただいたり、アドバイスして頂いたりしました。それぞれ住んでいる市町村により特別支援の対象や内容に違いがあり、同じ奈良県においても差があることに会員同士、驚きがありました。

最後に発達障害の子どもは、何に困っていて、どのように援助してもらいたいかを自ら訴えて説明することができないことがほとんどであるため、先生方には発達障害の特性や症状をより理解して頂き、子どもが何に困って悩んでいるのかをくみ取り、寄り添い、適切な支援や関わりをして頂きたい、そのためには、コーディネーターの養成が必須であり、すべての先生方が子どもたちと向き合い、適切に援助して頂けるよう、更に研鑽・育成するためのプログラムの構築をして頂きたいとお願いしました。

<参加者からの感想>

- Mさん『(県庁での) お話を聞かせて頂き、改めて支援の難しさを感じました。色々悩みが尽きないです』
- Yさん『私自身も当事者側であるので、子ども側の辛い気持ちも痛い程分かって、自分の子ども時代と すごく重なって、先生方に子どもの気持ちがうまく伝えられない気持ちが分かります。参加で きて良かったです。』
- Kさん『地域での支援の差や新しい指導要領についてなどなど、私なりに勉強させて頂きました。』
- Kさん『県庁の方にもしっかり話を聞いて頂いて、対応して頂けることを願っています。』
- Wさん『県庁訪問してアドバイス頂き、市の教育委員会と学校側と、今後の子どもへの対応について話し合いの機会を持ち、子どもへの合理的配慮をして頂けるようになりました。』
- Mさん『皆さんも日々、色々な悩みを抱えていらっしゃる。子どもは学校での生活が苦痛であれば生きること も困難になるので、全ての子どもが学校で安心して過ごせ、楽しく学べる場所になるように願います。』

ゲーム・キックベース・工作!! たのしいクリスマス会

12月9日(土)奈良県福祉パークにて、土曜会児童部恒例のクリスマス会を開催しました。

パンジー児童部 1 1人、兄弟児 7人、保護者 1 3人が参加し、キックベース、借り物(人)競争、ガーランド作り(工作)、お名前ビンゴをした後は、土曜会青年部会長の中学 2 年生の男の子が仮装したサンタさんからのプレゼント。 子どもたちは、興味津々!しっかり話しを聞いていて作ったり、ゲームに参加をしていました。周りの子たちへの気遣いも少しずつでき、和気あいあい、楽しく過ごすことができました。



+☆クリスマスのガーランド作り +☆





土曜会青年部会長さんありがとう!

~子どもたちの感想~

小6(男子) お名前ビンゴでリーチの後、最後の文字がなかなか出なくて焦った。

小6(女子) お名前ビンゴがドキドキして凄く楽しかったです。プレゼントが嬉しかった

小4(男子) 借り物競争が面白かった。またやりたいです

小4 (男子) 工作が楽しかったし、プレゼントがもらえて嬉しかった

小3 (男子) クリスマス会楽しかったなぁ。プレゼントも貰えてゲームもして、パンジーは 楽しいところやなぁ

小2(男子) お名前ビンゴが楽しかった。サンタがキックベースの時に、優しかったお兄ちゃんで、嬉しかった。

パンジー各部活動報告&今後の予定

《運営部》

活動報告

- ______ 10月 2日 奈良障害フォーラム代表者会議
- 11月12日 近畿ブロック研修会(ドーンセンター)
- 11月19日 パンジー全体交流会(あすなら苑)
- 11日21日 ボランティア募集活動(奈良教育大学)
- 12月 3日 役員会議(あすなら苑)
- 12月 3日 奈良障害フォーラム医療シンポジウム
- 12月12日 マッケンジーソープ絵画展会議(生駒コミュニティーセンター)
 - 1月13日 マッケンジーソープ絵画展実行委員会(こっから)

今後の予定

- 1月23日 マッケンジーソープ絵画展実行員会(こっから)
- 1月24日 パンジー通信印刷・発行(はぐくみセンター)
- 1月27日 新年会(採食酒器たち花/大和八木)
- 2月24~25日 マッケンジーソープ絵画展(郡山イオン イオンホール)
- 3月11日 近畿ブロック会議(岡山きらめきプラザ)
- 3月18日 役員会議(あすなら苑)
- 4月22日 新旧役員会議(あすなら苑)
- 5月27日 パンジー総会(あすなら苑)

《小中学部》

活 動 報 告

- 9月20日 サロン川西
- 10月18日 サロン川西
- 11月15日 サロン川西
- 11月15日 奈良県教育委員会訪問
- 12月20日 サロン川西

今後の予定

春のレクレーション(ボーリング)



《 アド部 》

活<u>動報告</u>

- 9月27日 印刷後おしゃべり会
- 9月27日 中小企業家同友会訪問
- 9月28日 奈良労働局、奈良県障害福祉課訪問
- 9月28日 奈良県雇用政策課訪問

今後の予定

- 1月24日 印刷後おしゃべり会計画
- 3月上旬 アド部 ランチ会計画

《 ピアカン 》

活動報告

1月25日 奈良市総合福祉センター 奈良市障害児通所支援連絡協議会 支援者向け研修会 参加

今後の予定

未定

土曜会各部

土曜会は、特別支援教育士SVの大庭譲治先生が共に活動するソーシャルスキルトレーニング(SST)学 習の場です。土曜会活動は、小学生の児童部、中高生の青年部、18歳以上の成人部の3つの部に分かれて活 動しています。

活動報告

児

置

部

諅

年

部

9月 9日 土曜会活動/福祉パーク

10月14日 土曜会活動/福祉センター

11月11日 土曜会活動/福祉パーク

12月 9日 土曜会活動/福祉パーク(クリスマス会)

1月13日 土曜会活動/三郷町スポーツセンター

今後の予定

2月10日 土曜会活動/福祉パーク

3月10日 土曜会活動/福祉パーク

4月14日 土曜会活動/福祉センター(フリーマーケット)

活 動 報 告

9月 9日 土曜会活動/福祉センター

10月 14日 土曜会活動/福祉センター

11月11日 土曜会活動/福祉パーク

11月18日 秋のイベント (ボーリング・カラオケ)

12月 9日 クリスマス会 (ゲーム・ビンゴ)

土曜会活動/三郷町スポーツセンター 1月13日

2月10日 土曜会活動/福祉パーク

3月10日 土曜会活動

今後の予定

活動報告

11月16日(土) 西大寺駅「白木屋」

S君が幹事でした。13名参加。

大庭先生のお知り合いの奈良県立大和中央高校 の先生がご参加いただきました。

通信制高校ですが、特養に入れない発達障害の 方が多く、イキイキした皆に刺激を得られたそ うです。

今後の予定

2月17日(土) 開催いたします。 西大寺の店で、前に開催して人気だった 洋食屋さんの「ミュンヘン」です。

各活動は、随時、フェイスブックに て公開しています。ご覧いただきま したらぜひ、いいね!をお願いしま す。

facebook



プパボラを募集しています!!

部

成

お知らせ



イオン黄色 いしシートキャンペーン 投函ボックス設置店変更のお知らせ

昨年度より参加させていただいてるイオン黄色いレシートキャンペーン。半年間で寄付金を 2474円いただきました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

以前は橿原アルル店でレシート投函ボックスを設置していただいていましが、今後は**ビックエクストラ平群店**(奈良県生駒郡平群町三里110番地)**にボックスを設置**していただくことになりました。

ぜひ、毎月11日はビックエクストラ平群店でお買い物をしていただき、パンジーの会投函 ボックスに、レシートを入れていただきます様、よろしくお願いいたします。

なお、前回、橿原アルル店でいただきました寄付金で、土曜会児童部で使用する養生テープ、全体交流会時のお菓子やお茶を購入させていただきました。ご協力、誠にありがとうございました。



毎月11日は、ビックエクストラ平群店でお買い物! このボックスにレシート投函をお願いします!

